

交通安全教育用DVD・書籍の貸出

1 貸出期間

月曜日から金曜日まで（午前9時～12時・午後1時～5時）
祝祭日・12月29日から1月3日までは除きます。

2 申込(予約)方法

電話で申込をしてください。

福岡県人づくり・県民生活部生活安全課

所在地 〒812-8577
福岡市博多区東公園7番7号 行政棟 南棟5階

電話番号（直通）092-643-3167

3 貸出及び返却方法

貸出希望の方は本人確認ができる書類（運転免許証・パスポート等）を持参のうえ、来庁してください。

4 貸出期間

14日以内とします。使用後はすぐに返却してください。（最長14日間）

5 利用制限

1回の貸出につき、2本（2冊）までとします。
交通安全教育のためのもので、営利を目的に使用することはできません。

1 DVD

| No. | タイトル | 内 容 |
|------|--|---|
| D-1 | 飲酒運転に明日はない！ (29分) | 飲酒運転による死亡ひき逃げ事故を題材に、被害者の無念さ・遺族の悲しみ、加害者やその家族の苦悩など飲酒運転がもたらす悲劇を描き、飲酒運転を許さない社会環境づくりの大切さをドラマ形式で訴えます。 |
| D-2 | 二つの崩れた家族 飲酒が車を凶器に変えた (30分) | 飲酒運転に対する甘い認識がひき起こす事故。40代サラリーマンの幸せな家庭の崩壊をとおり、飲酒運転の犯罪性・根絶へのドライバーの自覚の必要性等を強く訴えます。 |
| D-3 | 許すな！飲酒運転 (19分) | アルコールは自動車の運転にどのような影響を及ぼすか・・・改正道路交通法の概要をわかりやすく解説、ドライビングシミュレーターでの検証・専門の医師による解説をとおり飲酒運転の危険性を訴えます。 |
| D-4 | ここに注意！ 歩行者・自転車・バイク事故 事故事例に学ぶ (17分) | 歩行者・自転車・バイクの利用者がかかわる事故は増加傾向にあります。衝突安全装置を持たないため、車と衝突した場合のダメージは計りしれません。車のドライバーはどのようなことに注意しなければならないかを実際の事故事例をとおり具体的に描いていきます。 |
| D-5 | 飲酒運転防止研修DVD 知って得する！ アルコールの基礎知識 (45分) | 講座1から講座4に分けて説明します。講座1はアルコールの「1単位」と体質、講座2は「酔いの正体」と運転への影響、講座3は「寝酒の落とし穴」と「節酒のコツ」、講座4は「アルコール依存症」の予防と早期発見で構成しています。 |
| D-6 | JAFセーフティ・アドバイス ～シートベルトを締めないで 安全な席はない！ (43分) | 交通事故は思わぬ時に起こります。万一の時に身を守る、シートベルトやチャイルドシートも正しく着用しないと効果は十分に発揮されません。正しい着用方法や車内に潜むいろいろな危険性をわかりやすく説明します。 |
| D-7 | 検証！飲酒運転の恐怖 ～飲酒運転の危険性を認識させる ための交通安全教育用DVD～ (23分) | アルコールの摂取は車の運転にどのように影響するのか？飲酒運転の危険性を自動車教習所において実験した警察庁作成のDVDです。 |
| D-8 | 交通遺族の叫び 生きていればこそ 一交通事故を起こさないために～ (25分) | 交通事故の原因はさまざまですが、残された家族の悲しみは計り知れません。愛する家族を失った交通遺族への取材を通して、ドライバーへ慎重な運転を訴えかけます。 |
| D-9 | 心に刻め！ 命にスペアはないことを 一事故現場は語る～ (22分) | 「きちんと前を見る」ことが安全運転の基本です。60件あまりの事故現場を取材して事故事例に沿って交通事故防止のポイントを具体的に描いています。 |
| D-10 | ストップ！自転車の危険運転 中学生の事故を防ぐ (20分) | 自転車は手軽で便利な乗り物ですが、道路交通法では「軽車両」の一種と定められています。事故にあわない・起こさないために決められた交通ルールやマナーを守る大切さを訴えます。 |
| D-11 | 自転車も車両です ～交通安全への意識改革～ (21分) | 「自転車も車両」であることを意識させ、自転車の安全ルールの基本である「自転車安全利用5則」の説明、交通事故防止に役立つ3つのポイント等を具体的に紹介しています。 |
| D-12 | 飲酒運転 許されない犯罪 (23分) | 飲酒運転は加害者・被害者だけでなく周囲の人々も巻き込んでいきます。飲酒運転は絶対にしてはいけない、許されない犯罪であることを訴えています。 |
| D-13 | 飲酒運転が人生を狂わせた 受刑者と遺族の悲痛な叫び (25分) | 交通事故は、気の緩みや交通違反など日々の運転行動の積み重ねによって発生するものです。飲酒運転事故も同様です。交通刑務所の受刑者のインタビューを通して事故の恐ろしさ・悲惨さを訴えます。 |
| D-14 | 飲酒運転 罪と罰 破滅への選択 ～あなたならどうしますか～ (16分) | 飲酒運転はいけないことと知りながら、なぜお酒を飲んでしまうのでしょうか？イエスかノーか、誤った選択が人生を破滅に向かわせる様子をフローチャートを展開させながら働きかけていきます。 |
| D-15 | あなたの運転 間違っていないですか ～自転車はクルマの仲間～ (21分) | 「自転車は軽車両」です。乗車中のマナー低下とともに、歩行者に対し加害者となる事故が増えています。自転車事故の原因を検証するとともに「自転車安全利用5則」を解説しています。 |

| No. | タイトル | 内 容 |
|------|---|--|
| D-16 | 自転車は車のなかまです 自転車を安全に乗るために (24分) | 自転車は手軽で便利な乗り物です。しかし、歩行者とのトラブルも増加しています。損害賠償に関するミニドラマや事故の再現映像、統計グラフなどを活用しながら基本ルールや乗車前に気をつけることを紹介しています。 |
| D-17 | もう、誰もあなたを信じない すべてを失う飲酒運転の 代償 (28分) | 軽い気持ちで飲酒運転をした加害者が、すべてを失っていくまでを疑似体験できます。被害者家族の声、アルコール依存症に苦しむ患者の声を通して飲酒運転の恐ろしさを訴えます。飲酒運転とアルコール依存症の関係を医師がわかりやすく説明しています。 |

2 書 籍

| No. | タイトル | 著 者(編 者) | 内 容(抜 粋) |
|-----|---------------------------------|------------------------------|---|
| 1 | 交通事故防止の人間科学 【第2版】 | 松永 勝也 編 | 自動車の運転事故はどのようにして起こるのかを考察し、どのような運転が安全運転であるかを具体的に提示する。さらに規則やマナーを守って走行の がなぜ困難なのかを考察し、積極的にそれを守って 走行させるようにするための教育法についても提案 を行う。 |
| 2 | 交通事故はなぜなくな らないか リスク行動の心理学 | ジェラルド・J・S・ ワイルド 芳賀 繁 訳 | いくら安全装置を改善しても、道路を改良しても、取 締りを強化しても、交通事故は減らないのはなぜ か？学界と業界にセンセーションを巻き起こしている リスク・ホメオスタシス理論の考え方。 |
| 3 | 交通行動の社会心理学 運転する人間のこころと行動 | 蓮花 一己 編集 高木 修 監修 | 第1部では、事故との関係で人間行動を説明した心 理学的モデルと事故傾性の問題を扱います。第2部 から第4部までは交通行動に関する諸研究をまとめ ています。 |
| 4 | 幼児の交通安全 | 吉田 瑩一郎 ・ 石井 善一 編 | 幼児の交通安全指導にあたり、幼稚園や保育園の 先生方や保護者の指導用として、日々の具体的な指 導にすぐに役立つようにまとめたもの。 |
| 5 | 交通安全学 | 大阪交通科学 研究会 | 交通安全学とは、道路づくり、安全施設整備、交通 処理、交通環境づくり、ドライバー、歩行者等の心 理、安全教育、救急医療体制づくり、リハビリ・社会復 帰、保険制度づくり等、広い分野を統合し、社会的に 最適な交通安全システムを形成し、それを維持管理 する方法を研究するものである。 |
| 6 | 交通安全教育指導の手引き | 恒成 茂行 編 | 交通安全教育の指導者養成ための実践ガイド、熊 本大学で行われた交通安全指導のための教育講 座。 |
| 7 | 交通安全概論説 (改訂版) | 澤 喜司郎 | なぜ交通事故を起こすのか。どうすれば回避できる のか。豊富な科学的データにもとづき、平易に解説。 |
| 8 | 【改訂5版】 交通事故防止マニュアル | 労働調査会 | 第1章では、交通事故防止のための最大ポイントと して自動車運転を安全に行うための諸事項の対策を 取り上げた。第2章では、各種のチャートやシートを 数多く掲載、第3章では、交通安全のための社内規 定や様式を取り上げた。 |
| 9 | 高齢ドライバー 加害者にならない・しないために | 毎日新聞 生活報道センター | 高齢ドライバーによる事故は増えています。事故の 背景に高齢者ゆえの特徴や事情があるとすれば・・・ 毎日新聞で連載の「クルマ高齢社会」をはじめ、読者 とともに考えました。 |
| 10 | えみるの赤いランドセル | 風見 しんご | 大事に大事に使っていた、えみるの赤いランドセ ル。一瞬でズタズタにへしゃげてしまいました。中に 入っていた鉛筆は、全部折れて砕けていました。交通 事故の現実……。 「交通事故ゼロをめざして……」 ランドセルから、そんな声が聞こえてくるのは僕だけ でしょうか？ |